

2023 男女雇用機会均等法集会

2023年6月3日、2023 男女雇用機会均等法集会が対面とWEB 併用で開催され、9産別4地区 86人が参加しました。

はじめに、金子ユリ連合北海道女性委員会委員長から、「日本男性は『もっと家事・育児・介護を分担しましょう！』と言われても、際立って長い有償労働の時間がそのままでは難しい状況であり、通勤時間も含めて仕事にける時間を見直して、その分を家事・育児・介護にまわすことを考えていかなければならない。」企業全体でみた男女間の賃金の差に目を向けると依然として格差はある。「女性の処遇や管理職への女性の登用が少ないケースや、結婚や出産で仕事を離れた女性が仕事を再開するときに、有期雇用等となり再就職し処遇が下がってしまうことを映し出している。正規雇用での復帰を促すには、休暇の取りやすさ、テレワークの充実等、柔軟なはたらき方を促進させ、パートナーの長時間労働も是正する必要がある。」と挨拶がありました。



挨拶をする金子ユリ委員長

提起をする田中紀恵事務局長

次に、田中紀恵女性委員会事務局長が、今回の集会の趣旨をはじめ、連合がスローガンに掲げている、誰もが自分らしくチャレンジできる社会、女性がはたらきやすい環境づくりを進めるためにも女性参画が必要であると提起しました。

基調講演では、フリーキャスターであり札幌大学客員教授の中田美知子さんに「クォータ制、いろはから始めます。」と題して講演いただきました。女性参画のポジティブ・アクションとしての手法である「クォータ制」とは何かということからスタートし、地方統一選挙の前後を比較するなどして、女性議員をなぜ増やさなければならないかということや今後の目標等について話されました。「『クォータ制』などをとりいれると、男性は『女性ばかりゲタを履かせている』というが、そもそも男性は生まれたときから高いゲタを履いており、その差を今なんとか縮めようとしている」「北海道は性別役割分業意識が根強い地域であり、そこで政治に女性が参加し、きちんと発言をしていくことが大切」「1期で辞めない女性議員を育てることが必要」など、様々な例をあげて説明がありました。最後に「自分は会社で役員をしてきたが、自分の後輩には役員がいない。下の世代にはつらいところばかり見せてきてしまっていたかもしれない。役につけば『これをやりたい』ということができ、景色が変わる。そういう経験をしてほしい。」と中田さんからの力強い応援の言葉で、講演は終了しました。



司会をする河原崎育子副委員長



講師の中田美知子さん

最後に、和田連合北海道副事務局長より集会総括が行われ、閉会しました。



6月は連合「男女平等月間」です。連合北海道は6日と7日に行う「全国一斉集中労働相談ホットライン」について、6月2日、札幌市中央区の紀伊國屋書店前で周知街宣をしました。

←集まってくださった道議・市議のみなさん